

発行所 田辺三菱製薬株式会社 大阪市中央区道修町3-2-10

新ワクチン

Vaccine News

平成27年 秋号

監修:川崎医科大学小児科学教授 中野 貴司 先生

平成27年秋号のトピックス

- インフルエンザ流行の原因ウイルス「A型とB型」
- 今年のインフルエンザワクチンは、予防できるタイプが3種類から4種類に増えます

インフルエンザ流行の原因ウイルス「A型とB型」

インフルエンザの流行は古くから知られていますが、科学的に証明されたのは1900年頃からです。特に、1918年から流行したスペインかぜにより亡くなった人は、全世界で2,000万人とも4,000万人ともいわれ、日本でも約40万人の犠牲者が出たと推定されています。

その後、1957年にはアジアかぜが、1968年には香港かぜ、1977年にソ連かぜ、そして最近では2009年にインフルエンザA(H1N1)2009が世界的な大流行を起しています。これらはいずれも「A型」と呼ばれるタイプのインフルエンザウイルスが原因です。最近の流行状況をみると、A型は、A(H1N1)2009とA(H3N2)2種類のインフルエンザウイルスが流行しています。

※注意:スペインかぜ、アジアかぜ、香港かぜなどは、通称「...かぜ」と呼ばれていますが普通の風邪ではありません。



かかるまえにできること

流行しているインフルエンザウイルスA型とB型



インフルエンザの最新情報

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/a/flu.html>

国立感染症研究所感染症学センターホームページには、インフルエンザの流行状況やウイルス分離情報などの最新情報が掲載されています。

インフルエンザコンテンツ
インフルエンザトップ

- ➡ インフルエンザ流行レベルマップ
- ➡ インフルエンザウイルス分離・検出状況
- ➡ 抗インフルエンザ薬剤耐性株サーベイランス
- ➡ インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者)

今年のインフルエンザワクチンは、予防できるタイプが3種類から4種類に増えます

これまでのインフルエンザワクチンは、A型2種類(A(H1N1)2009とA(H3N2))、B型1種類(山形系統かビクトリア系統のうちいずれか一方だけ)の合計3種類のインフルエンザに対応していました。

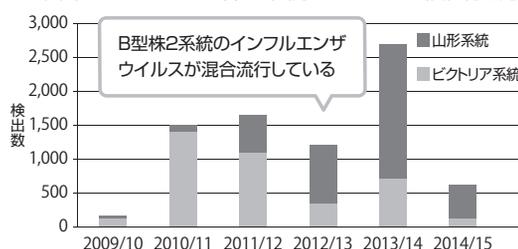
しかし、近年B型は山形系統とビクトリア系統の両方が混合して流行していることから、両方の系統が流行した場合には、B型1種類しか対応していないワクチンでは効果が不十分となることが考えられます。また、すでに海外では予防できるタイプが

そして、このA型の他に「B型」のインフルエンザウイルスによる流行がみられます。B型は大きく2つのグループ(山形系統とビクトリア系統)に分けられますが、近年は山形系統とビクトリア系統の両方が混合して毎シーズン流行しています。

B型に感染した場合にはA型よりも高熱が出にくく、消化器症状が出やすい傾向にあり、適切な薬で治療しても、解熱までの時間が長いなどの違いはありますが、体温測定や診察だけでA型かB型かを区別することはできません。このため最近では、鼻やのどの粘液を綿棒でぬぐって調べる迅速診断キットが用いられ、インフルエンザかどつつか、またA型かB型かなどを判断しています。

3種類のインフルエンザワクチンと4種類のワクチンの両方が発売されています。このため、日本では今シーズンから、これまでのワクチンにもう1種類のB型を加えて、4種類のインフルエンザウイルスをカバーできるワクチンに切り替えられることとなりました。

■日本におけるB型株2系統のウイルス検出状況



国立感染症研究所ASR シーズン別ウイルス検出状況(6月10日作成)より作成

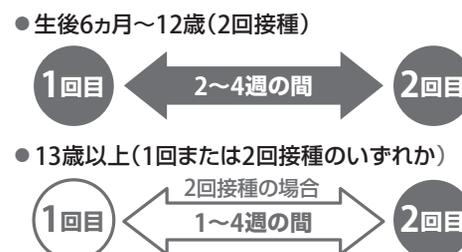
予防接種Q&A

Q 昨年、インフルエンザワクチンの接種を受けましたが、今年も受けた方がいいのでしょうか？

A これまでの研究から、季節性インフルエンザワクチンにおいてワクチンの予防効果が期待できる期間は、接種した(13歳未満の場合は2回接種した)2週間から5か月程度までと考えられています。また、インフルエンザワクチンは、そのシーズンに流行が予測されるウイルスに合わせて製造されています。このため、インフルエンザの予防に十分な免疫を保つためには毎年インフルエンザワクチンの接種を受けた方がよいと考えられます。なお、日本ではインフルエンザは例年12月から3月頃に流行し、1月から2月に流行のピークを迎えます。ワクチン接種による効果は出現するまでに2週間程度かかるため、毎年11月中旬までにワクチン接種を終えることが望ましいでしょう。

したりすることができません。ただし、ワクチンの効果が持続する期間は、一般的に5か月程度とされ、また、流行するウイルスの型も変わるため、毎年定期的に接種することを勧めます。

インフルエンザワクチンの接種スケジュール



したがって、毎年定期的に接種することを勧めます。

予防できる病気には予防接種を！

かかる前にできること、それは...

【主な感染症がはやる季節】

月	春			夏			秋			冬			春		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
麻疹															
風しん															
みずぼうそう															
おたふくかぜ															
インフルエンザ															
感染性胃腸炎(ロタ)															
感染性胃腸炎(ノロ)															
ヘルパンギーナ															
手足口病															
咽頭結膜熱(プール熱)															
浴連菌感染症															
突発性発疹															

一般的な流行時期をご紹介しますが、流行する時期は地域によって異なります。